



# 愛媛県立伊予高等学校

Iyo Senior High School

〒791-3102  
愛媛県伊予郡松前町北黒田119番地2  
Tel 089-984-9311  
Fax 089-985-0622  
サイト内検索

学校紹介
学科・コース
行事予定(月別・年間)
部活動
進路情報
取り組み
入学を希望する方へ

> [取り組み](#) > 人権・同和教育

メニュー 編集

- ▶ ホーム
- ▶ 学校紹介
- ▶ 学科・コース
- ▶ 行事予定(月別・年間)
- ▶ 部活動
- ▶ 進路情報
- ▼ **取り組み**
  - ・生徒会
  - ・家庭クラブ
  - ・教育相談室より
  - ・保健室より
  - ▶ **人権・同和教育**
  - ・ICT教育
  - ▶ アクティブ・ラーニング
  - ・自転車交通マナー
  - ・奨学金案内
- ▶ 入学を希望する方へ
- ▶ Q&A、お問い合わせ、ダウンロード
- ▶ WebMasterのお部屋

お知らせ 編集

現在、ありません。

※※ 注意 ※※ 編集

同窓会事務局や、伊予高校事務局を名乗り、卒業生に同窓会名簿の住所等を確認する電話がかかっています。同窓会事務局から電話で個人に名簿の内容を確認することはございません。本校同窓会事務局や伊予高事務局とは無関係なものですので、くれぐれもご注意ください。

リンク 編集

検索  [リンク追加](#) [リンク編集](#)

pickup

- [いじめ防止基本方針](#)
- [非常災害時の対応](#)
- [発信！高校生記者\(愛媛新聞\)](#)
- [愛媛県教育委員会高校教育課 - 学校の魅力化の取組](#)

伊予高校

- [旧 伊予高等学校ホームページ](#)
- [伊予高校同窓会](#)

愛媛県

- [愛媛県](#)
- [愛媛県教育委員会](#)
- [愛媛スクールネット](#)

地域

- [松前町](#)
- [伊予市](#)

その他

- [大学入試センター](#)
- [国立情報学研究所](#)

ご案内 編集

※県立学校、中等教育学校の魅力ある活動を集めました。こちらのページをご覧ください。



※このWebSiteは一部のコンテンツの閲覧にAdobe Readerが必要です。



※このWebSiteは国立情報学研究所が次世代情報共有基盤システムとして

人権・同和教育

○ いじめ防止に向けて

いじめは、冷やかしかからかいなどのほか、情報機器を介したいじめ、暴力行為に及ぶいじめなど、学校だけでは対応が困難な事例も増加しております。また、いじめをきっかけに不登校になってしまったり、自らの命を絶とうとしてしまったりするなど、深く傷つき、悩んでいる生徒がいるのも事実です。いじめ問題への対応は学校として大きな課題です。

そこで、生徒達が意欲を持って充実した高校生活を送れるよういじめ防止に向け、日常の指導体制を定め、いじめの未然防止を図りながら、いじめの早期発見に取り組むとともに、いじめを認知した場合は適切に目づ速やかに解決するため、**いじめ防止対策推進法**第13条及び、「**愛媛県いじめの防止等のための基本的な方針**」に基づき、「**愛媛県立伊予高等学校いじめ防止基本方針**」（いじめ防止全体計画）を定めます。（愛媛県立伊予高等学校いじめ防止基本方針本文より）

全文は[こちら](#)をご覧ください。

○ 人権デーについて

本校では、月に1回「人権デー」という日を設けています。この日にはSHRで、自分たちの人権意識を見直し、誰もが幸せに生活できる社会を目指すため、いろいろな話題を取り上げ、全員で考えています。

人権デー等資料

[記事を書く](#)

カテゴリ選択 ▼ 10件 ▼

2018/05/29 **松前町明るい人権の町づくり大会で発表しました。**

[Twitter](#) | [Facebook](#) | by:WebMaster

松前町では毎年5月に「明るい人権の町づくり大会」が開かれています。今年の大会は5月26日（土）に開催され、町の依頼により、伊予高等学校による「内藤素行の生き方」を本校生徒と教員が50分間発表し、約500人の町民の皆さんに御覧いただきました。

この発表は、明治時代の初め、松山地域で学校設立を進めていた内藤素行が、差別されていた人々の子どもたちを他の子どもたちと一緒に学べるよう力を尽くした話をもとに、本校教員が地域教材として構成したものです。



内藤や同行の役人たちが、差別されてきた人々の指導者の家に行き、子どもたちの就学を依頼します。そのあと、指導者の家では内藤はお茶を飲みましたが、同行の役人たちが飲まなかった場面を、生徒が劇で演じました。

発表では、お茶を飲んだ内藤素行と飲まなかった役人たちを比べ、どうして内藤が飲めたのかを追究し、東京で新しい知識を得た内藤に「分かったことを実行する強い気持ち」が身に付いていたこと、そして会場のみなさん自身に「分かったことを実行する強い気持ち」が身に付いているかどうかを強く問いかけました。

そして、差別してしまう弱い心を克服していること、「友よ」の歌をステージ上の生徒、ステージ前の生徒が合唱したところ、会場から大きな拍手がわきおこりました。

最後に、本校生徒会の年間テーマ「鑑」（自分を見つめる、手本になる）を紹介し、差別やいじめのない社会・学校づくりを呼びかけました。



ボランティアとしてステージ前で合唱した生徒は、「会場の皆さんに喜んでもらい、参加して本当によかった」と感想を述べてくれました。先生方や生徒の皆さんの支えのおかげで、町民の皆さんに感動を与え喜ばれる発表をすることができ、心地よい時間を過ごすことができました。

編集 | 削除

06:59 [投票する](#) | 投票数(0) | コメント(0)

2017/06/27 **【人権・同和教育】人権・同和教育講演会を開催しました。**

[Twitter](#) | [Facebook](#) | by:WebMaster

本校では毎年1回、全校生徒が参加する人権・同和教育講演会を開催し、人権意識を啓発する取組を行っています。今年も、6月22日（木）に行われ、本校の人権・同和教育課長が「内藤素行（ないとう もとゆき）の生き方」という演題で話しました。



明治5（1872）年、学制が発布され、伊予市・伊予郡や松山市一帯でも学校づくりが始まります。松山城下とその周辺の学校づくりを担当するのが内藤素行です。

学制発布の1年前の明治4年、松山県では解放令とともに「諭文」を出して、身分による差別の不当さを県民に説いていました。そのため内藤は、差別されてきた人々の子どもたちを松山の士族たちが多く通う学校へ入学させようと

開発したNetCommons2を利用して  
います。

カレンダー 編集

2018

09

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

本日までの来訪者 0909090909

愛媛県の歌

えひめ教育月間

します。内藤は、差別されてきた人々の指導者の家に行き、子どもたちを入学させるよう勧誘を行い、お茶を所望しました。出てきたお茶を内藤は飲みますが、同行の役人たちは飲もうとしませんでした。

講演では、お茶を飲んだ内藤と飲まなかった役人たちとを比べて、なぜ内藤がお茶を飲んで差別をしなかったのかを追求しました。彼が、新しい知識を身につけたうえで「分かったことを実行する気概」を持つ人物であったことを伝え、現代に生きる生徒自身が「分かったことを実行する気概」を持つように強く呼びかけました。

講演では、当時の文書や写真をプレゼンの文字とともに提示して、時代の雰囲気や伝えるとともに、劇や歌などを交え、生徒に分かりやすく伝えよう工夫しました。



講演後、全校生徒がクラスで感想文を書きました。生徒自身の生き方や心構えについて考えたものが多く見られました。

編集 | 削除 19:57 [投票する](#) | [投票数\(3\)](#) | [コメント\(0\)](#)

■ 2015/05/11 ■ 「障がい者と共に生きるために」 [by:WebMaster](#)

松前町と松前町教育委員会が昨年度に人権作文などを集めた冊子(ともに生きる)を発刊しました。本日の人権デーはその中から、昨年度伊予高を卒業した生徒の人権作文を紹介します。

>>続きを読む

編集 | 削除 16:23 [投票する](#) | [投票数\(2\)](#) | [コメント\(0\)](#)

■ 2014/09/22 ■ ノーマライゼーション社会の実現に向けて [by:WebMaster](#)

今回は、本校の保健室側でパン販売を行っている「ワークハウスタ谷」という施設の方に、人権委員がインタビューを行いました。この施設は一般企業への就職が困難な障がいのある方に就労機会を提供し、生産活動を通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練などの福祉サービスを供与することを目的としています。

>>続きを読む

編集 | 削除 10:19 [投票する](#) | [投票数\(1\)](#) | [コメント\(0\)](#)

■ 2014/07/07 ■ 「ボランティアと私」 [by:WebMaster](#)

昨年の夏季休業中の宿題である人権作文の中から「ボランティアと私」を書いた3年生の作文に目を奪われました。そこには地域の老人ホームでボランティア活動を通して輝いている伊予高生がいました。それではみんなの仲間の活動を理解をもらっているので紹介いたします。

>>続きを読む

編集 | 削除 08:19 [投票する](#) | [投票数\(2\)](#) | [コメント\(0\)](#)

■ 2014/06/09 ■ 「いじめはあってはいけないこと」 [by:WebMaster](#)

昨年の夏季休業中の課題である人権作文の中に印象に残る作文がありました。そのテーマは「いじめはあってはいけないこと」でした。この作文を読んで、今後いじめに対して厳しい目が養われ、さらに成長する伊予高生の姿を見ることが出来ます。この作文に共鳴する人がたくさんいると思います。

>>続きを読む

編集 | 削除 13:15 [投票する](#) | [投票数\(4\)](#) | [コメント\(0\)](#)

■ 2014/05/20 ■ 「『優しい人社会』を目指して」 [by:WebMaster](#)

昨年の夏季休業中の課題の1つである人権作文の中でふと考えさせられる作文がありました。そのテーマは「『優しい人社会』を目指して」でした。この作文を読んで、伊予高生は人間らしく生きる優しさをいつも考えていることがよくわかり、感心させられます。この機会を利用して、本人の理解をもらって紹介します。きっとこの作文にも共鳴する人たちがたくさんいることと思います。

>>続きを読む

編集 | 削除 13:07 [投票する](#) | [投票数\(1\)](#) | [コメント\(0\)](#)

■ 2014/04/23 ■ 「竹田の子守唄」 [by:WebMaster](#)

哀切なメロディーにのせて、フォークグループ「赤い鳥」が1971年に大ヒットさせた「竹田の子守唄」にまつわる話をしましょう。

>>続きを読む

編集 | 削除 12:55 [投票する](#) | [投票数\(0\)](#) | [コメント\(0\)](#)

カテゴリ選択 ▼ [10件](#) ▼